

様式第二号の八 (第八条の四の五関係)

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 日	
茨城県知事 大井川 和彦 殿	
提出者 高砂香料工業株式会社鹿島工場 住 所 茨城県神栖市砂山 1 3 番地 氏 名 工場長 元 賣 康 幸 (法人にあっては、名称及び代表者(代表取締役)の氏名) 電話番号 0479-46-3311	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	高砂香料工業株式会社鹿島工場
事業場の所在地	茨城県神栖市砂山 1 3 番地
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 ~ 令和 7 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	化学工業
② 事業の規模	7,767 百万円
③ 従業員数	89 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・ 廃油、事業系一廃、動植物性残渣、廃プラ（焼却、熱回収、埋め立て） ・ 廃油（粉碎、焼却、熱回収、セメント原料） ・ 廃プラ（粉碎、圧縮、プラ原料） ・ 廃棄電池、蛍光灯（粉碎、分別、鉄・アルミ等・水銀回収、有価） ・ 汚泥関係（脱水、堆肥化、水処理後農業用水） ・ 汚泥関係（焼却、熱回収、スラグ原料化） ・ 鉄くず、紙類（鉄溶融、紙溶融、各再資源化） ・ 動植物性残渣（堆肥化）・特殊肥料（堆肥化） ・ 混合廃棄物（粉碎、圧縮、プラ原料他）・木くず（チップ化燃料）

(日本工業規格 A 列 4 番)



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	・廃油・事業系一廃・動植物性残渣・廃プラ・ 廃棄電池・蛍光灯・汚泥・混合廃棄物・木くず	
	排 出 量	657.8 t	
	(これまでに実施した取組) H19年に廃液濃縮機導入。廃液濃縮を行い廃棄物減量化、令和 5 年度は、13.6 t 削減。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	・廃油・事業系一廃・動植物性残渣・廃プラ・ 廃棄電池・蛍光灯・汚泥・混合廃棄物・木くず	
	排 出 量	430.3 t	
	(今後実施する予定の取組) 分別の強化ならびに有用物化を検討、拡大を図る。 引き続き廃液の濃縮を実施、また高効率化を目指し更なる削減を図る。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の強化ならびに有用物化を検討、拡大を図る。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃油、汚泥等の有用化、減量化拡大の検討。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	・廃油・事業系一廃・動植物性残渣・廃プラ・廃棄電池・蛍光灯・汚泥・混合廃棄物・木くず	
	全 処 理 委 託 量	657.8 t	
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	
	再生利用業者への処 理 委 託 量	455.7 t	
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	202.1 t	
	(これまでに実施した取組)		
	マニフェスト管理、業者現地確認の実施。		

(第5面)

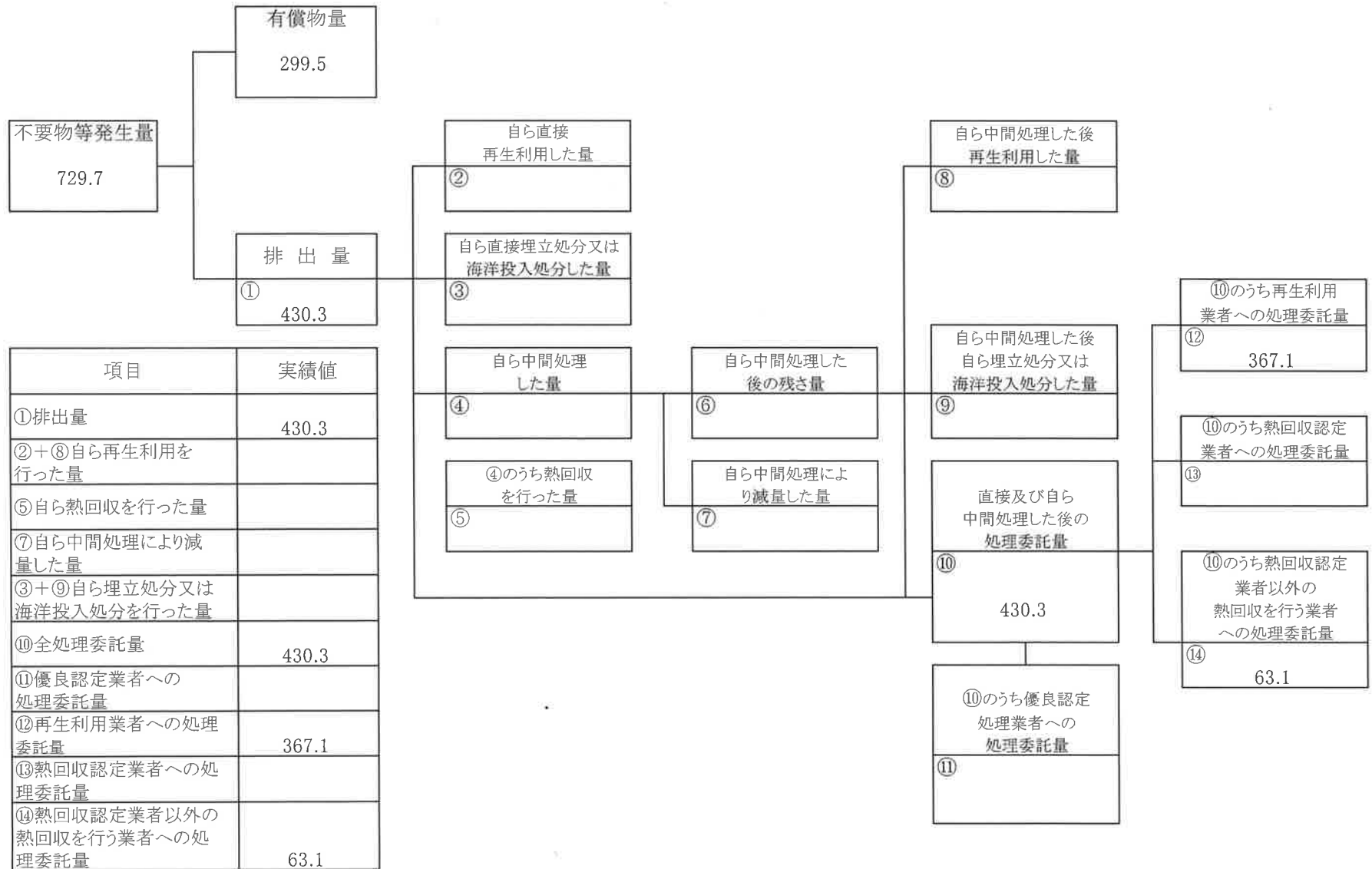
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	・廃油・事業系一廃・動植物性残渣・廃プラ・ 廃棄電池・蛍光灯・汚泥・混合廃棄物・木くず
	全 処 理 委 託 量	430.3 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	367.1 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	63.1 t
	(今後実施する予定の取組)	
	有用化推進を行う。	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

計画

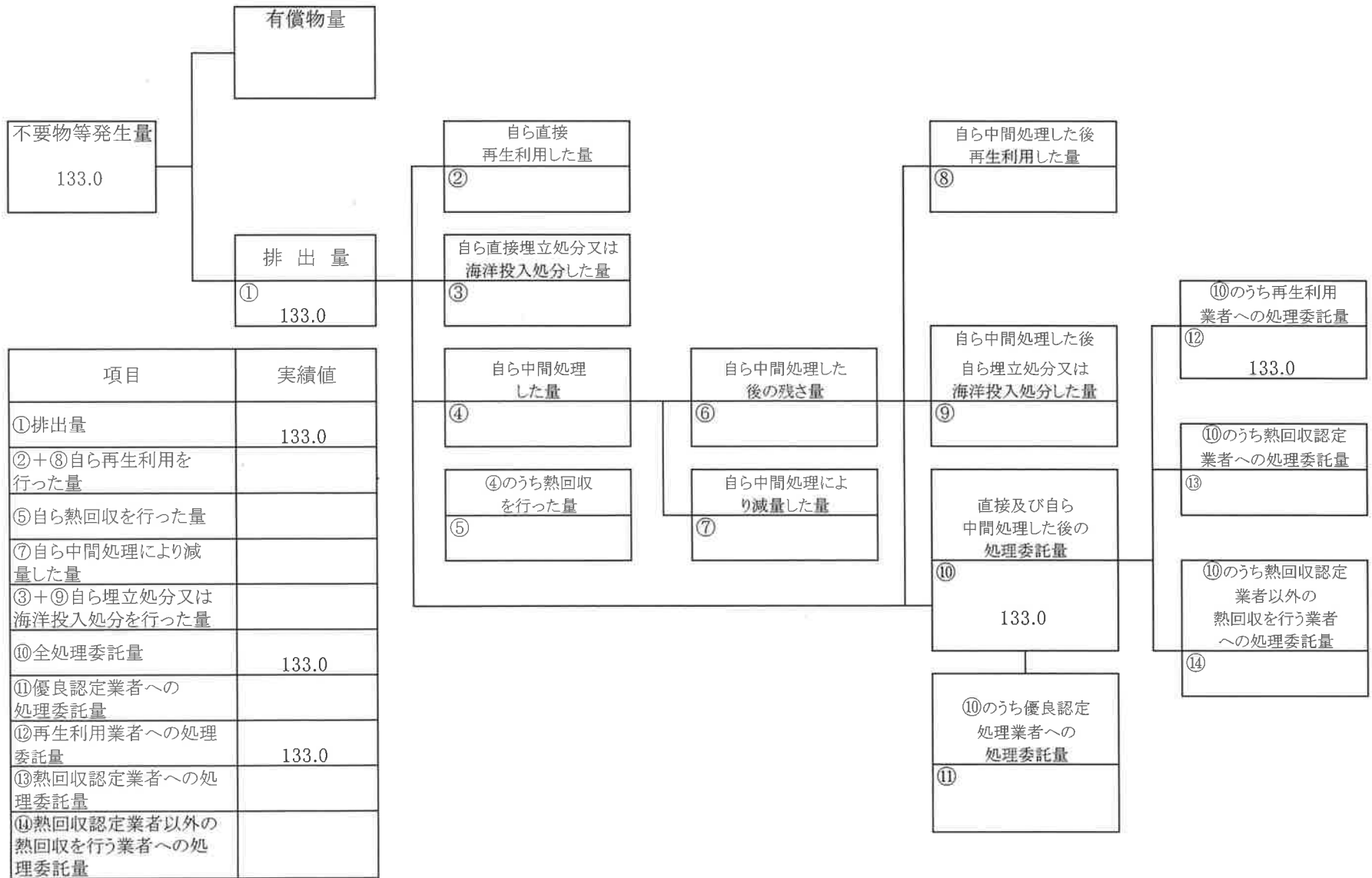
(産業廃棄物の種類:工場全体 集計)



(R6年度計画)

計画

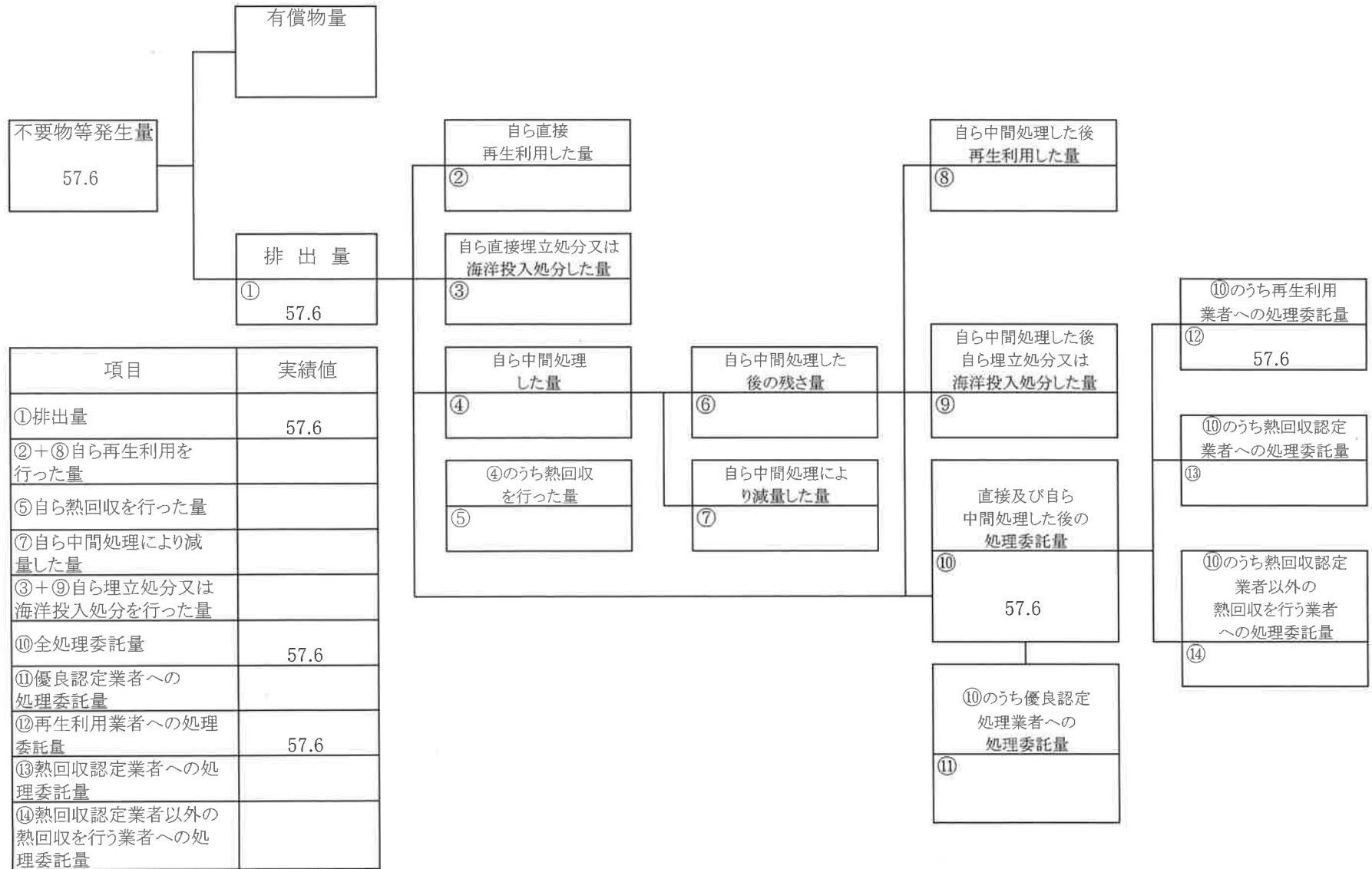
(産業廃棄物の種類:汚泥(廃液))



(R6年度計画)

計画

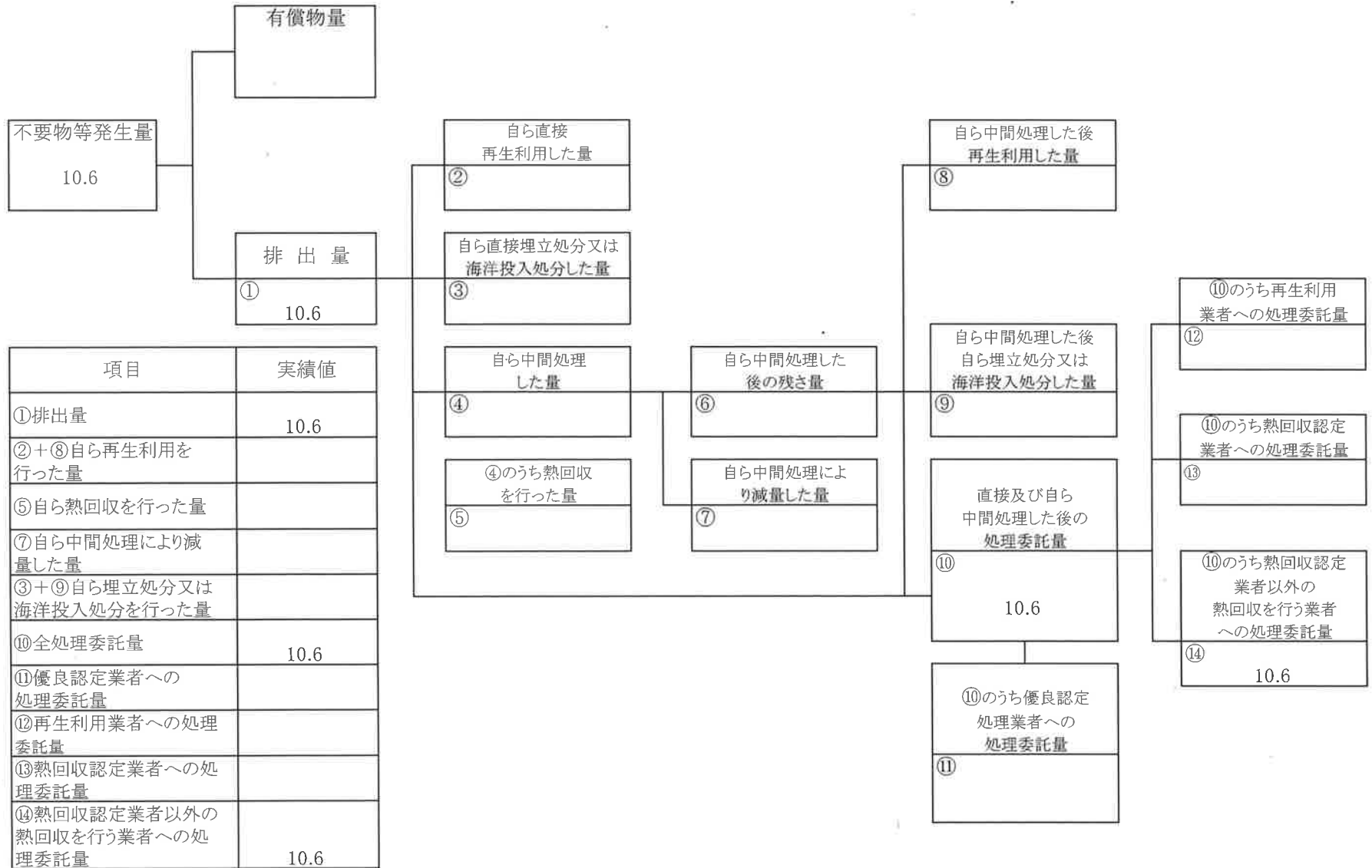
(産業廃棄物の種類:汚泥(排水汚泥))



(R6年度計画)

計画

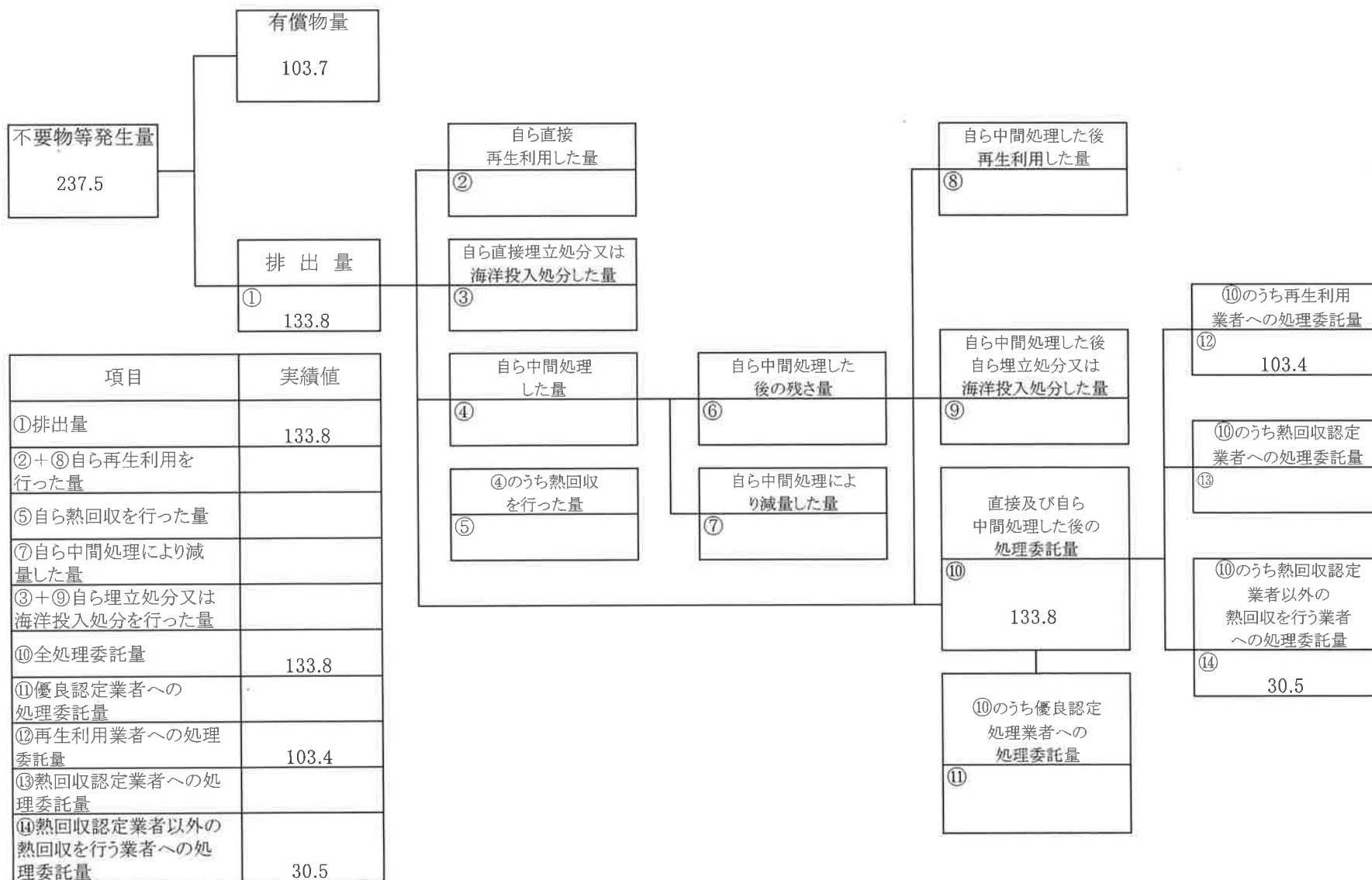
(産業廃棄物の種類:汚泥(脱水汚泥))



(R6年度計画)

計画

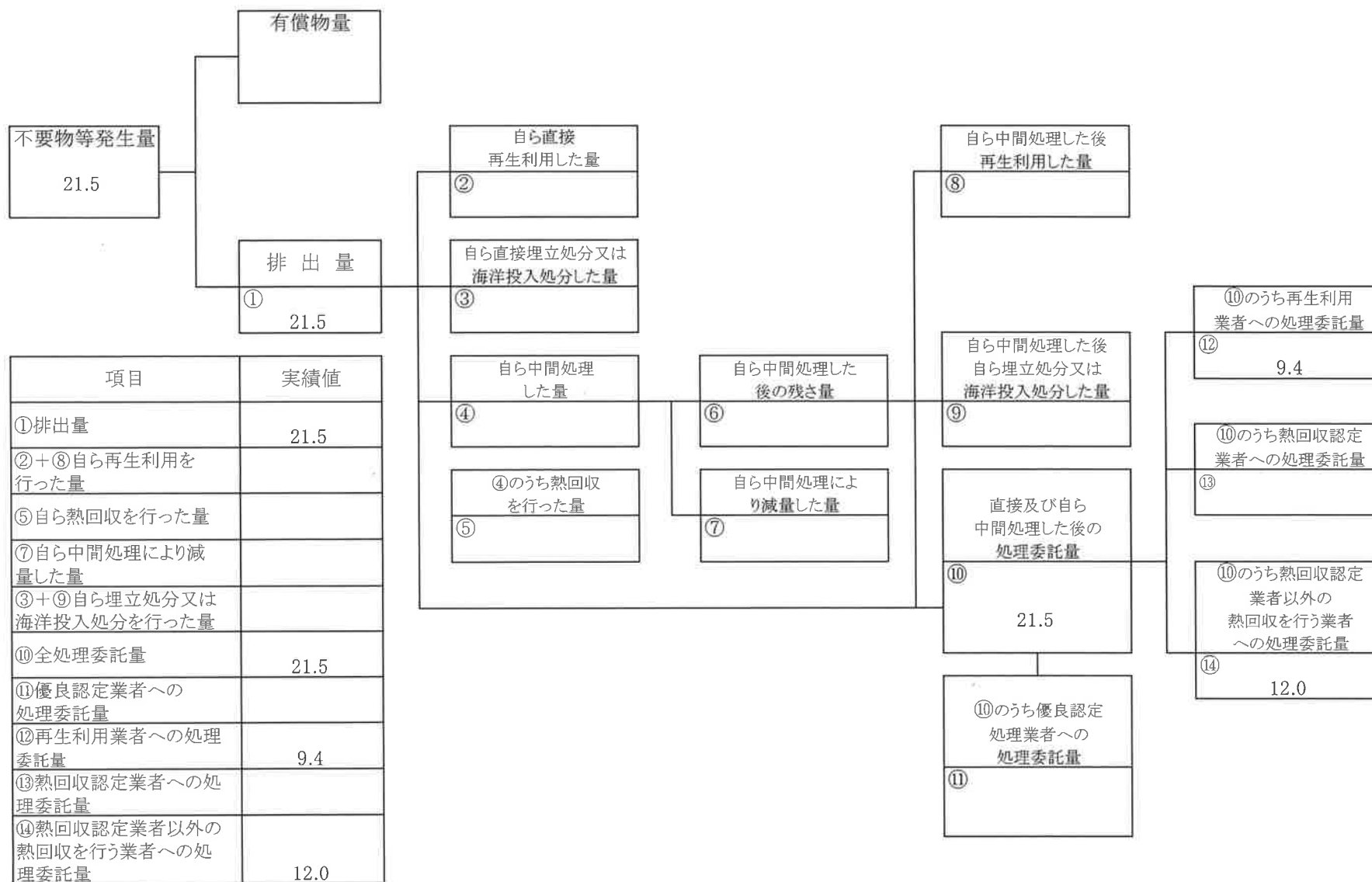
(産業廃棄物の種類:廃油)



(R6年度計画)

計画

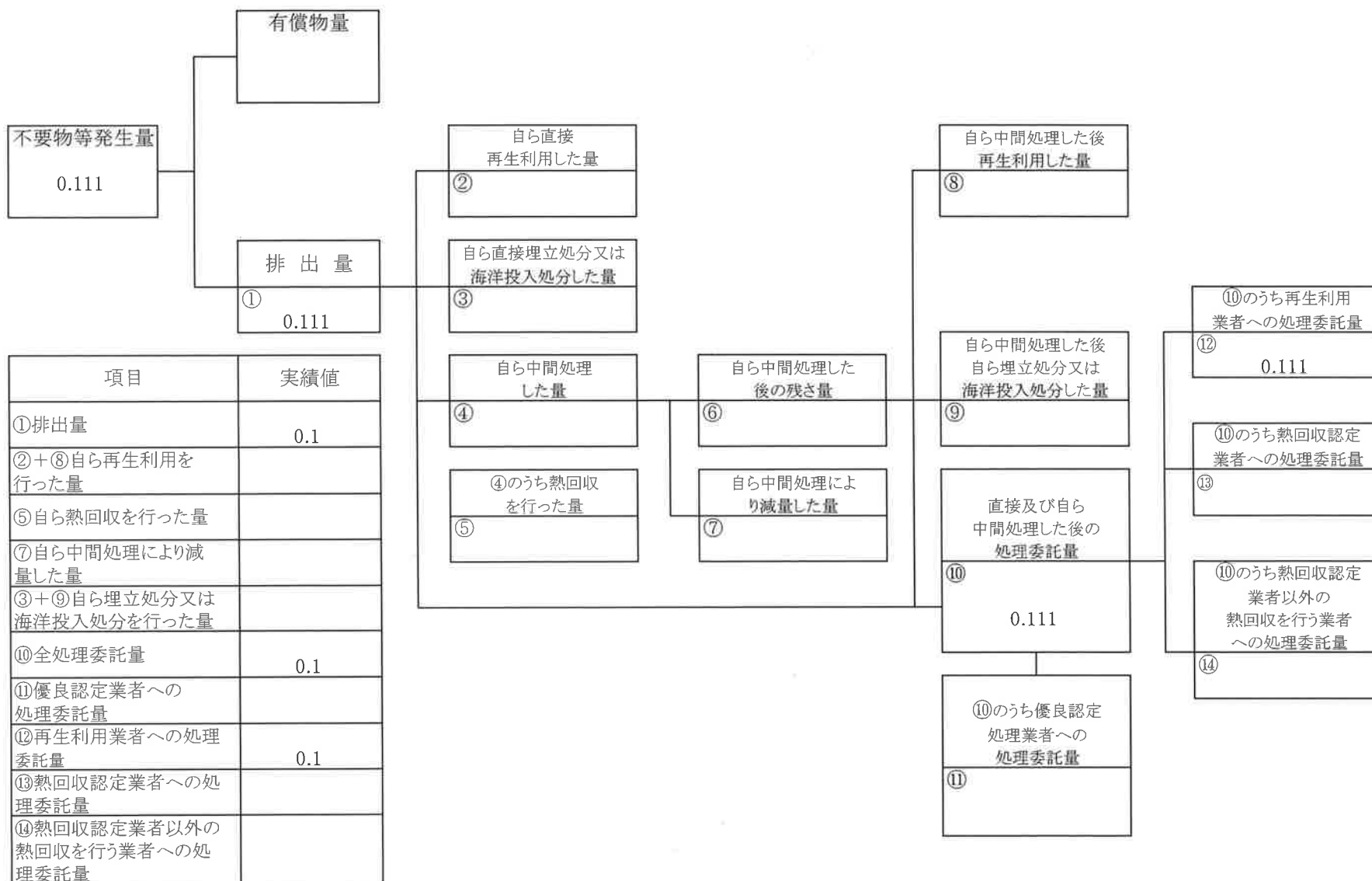
(産業廃棄物の種類:廃プラスチック)



(R6年度計画)

計画

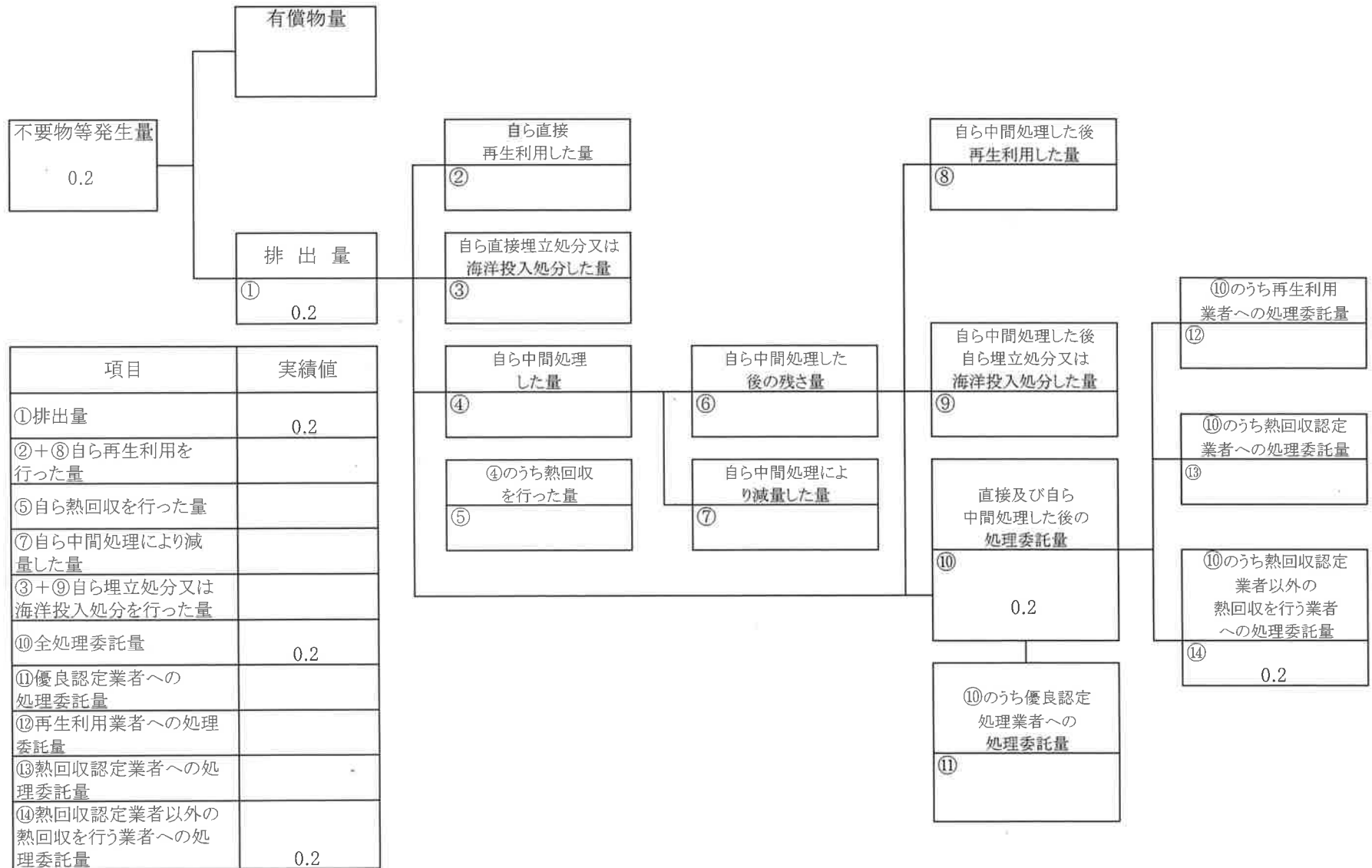
(産業廃棄物の種類:ガラス陶磁器くず・金属くず(廃棄電池・蛍光灯混合くず))



(R6年度計画)

計画

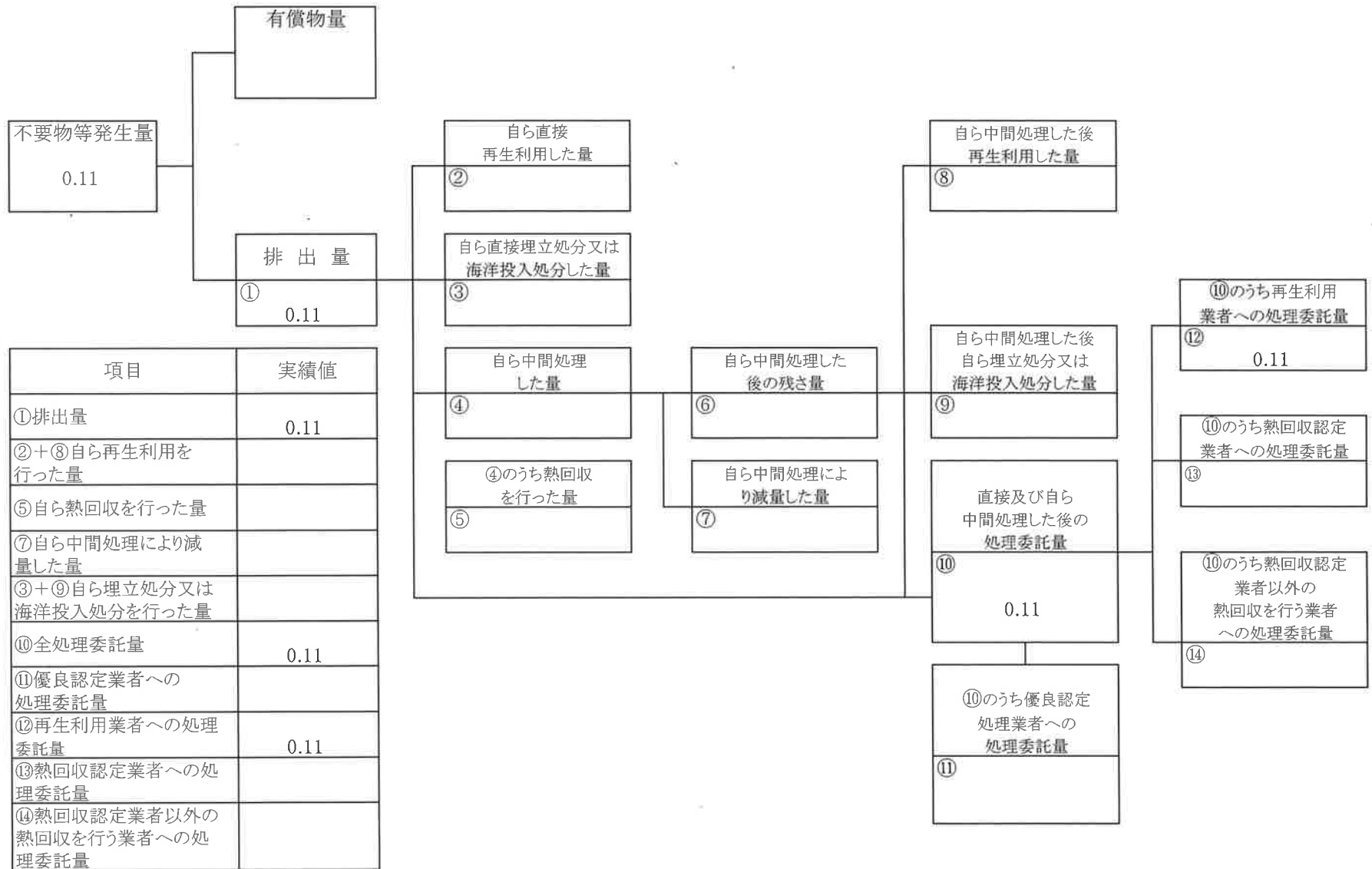
(産業廃棄物の種類:特別管理産業廃棄物(廃油:引火性廃油))



(R6年度計画)

計画

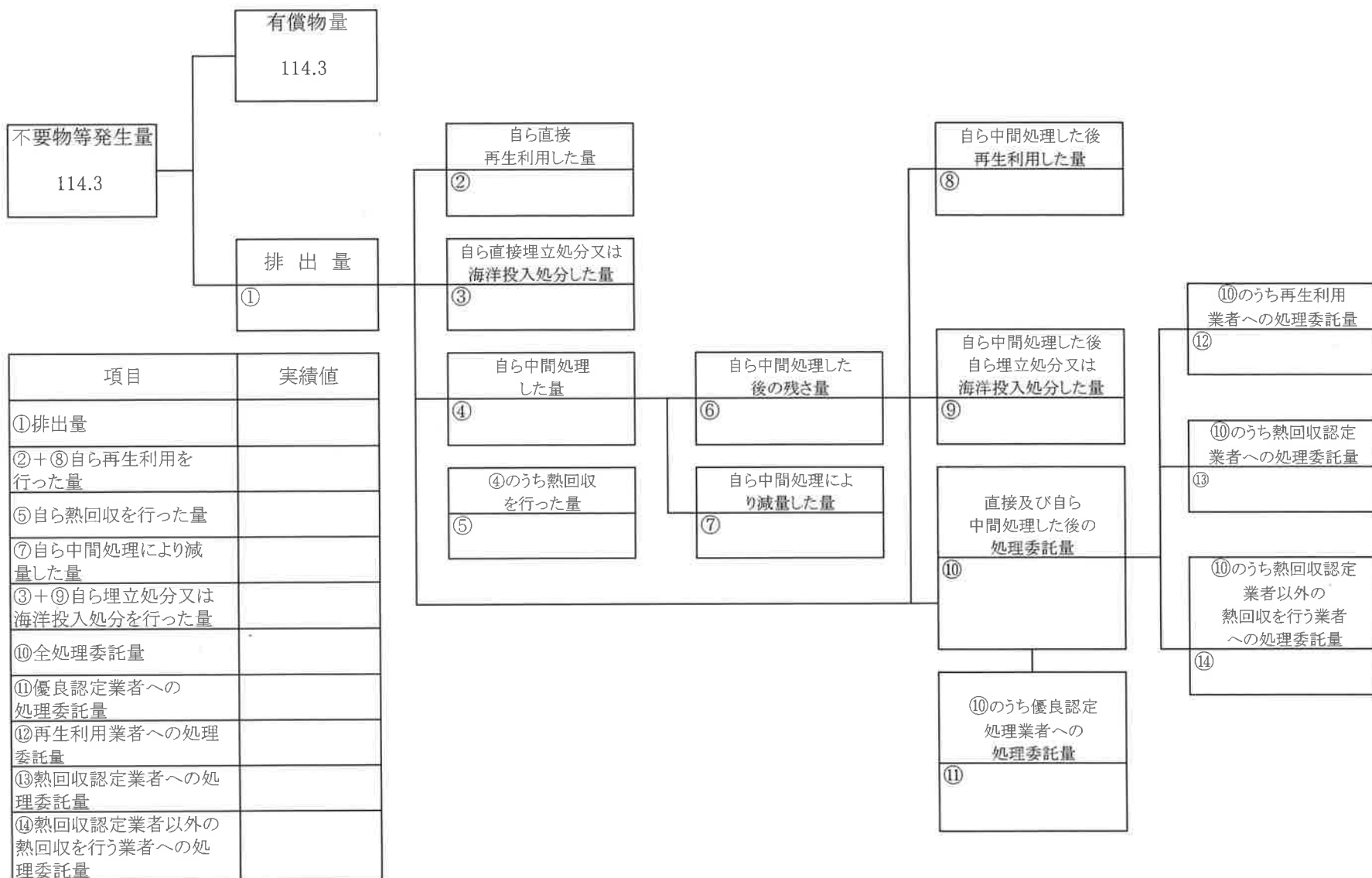
(産業廃棄物の種類:廃酸(廃薬品類))



(R6年度計画)

計画

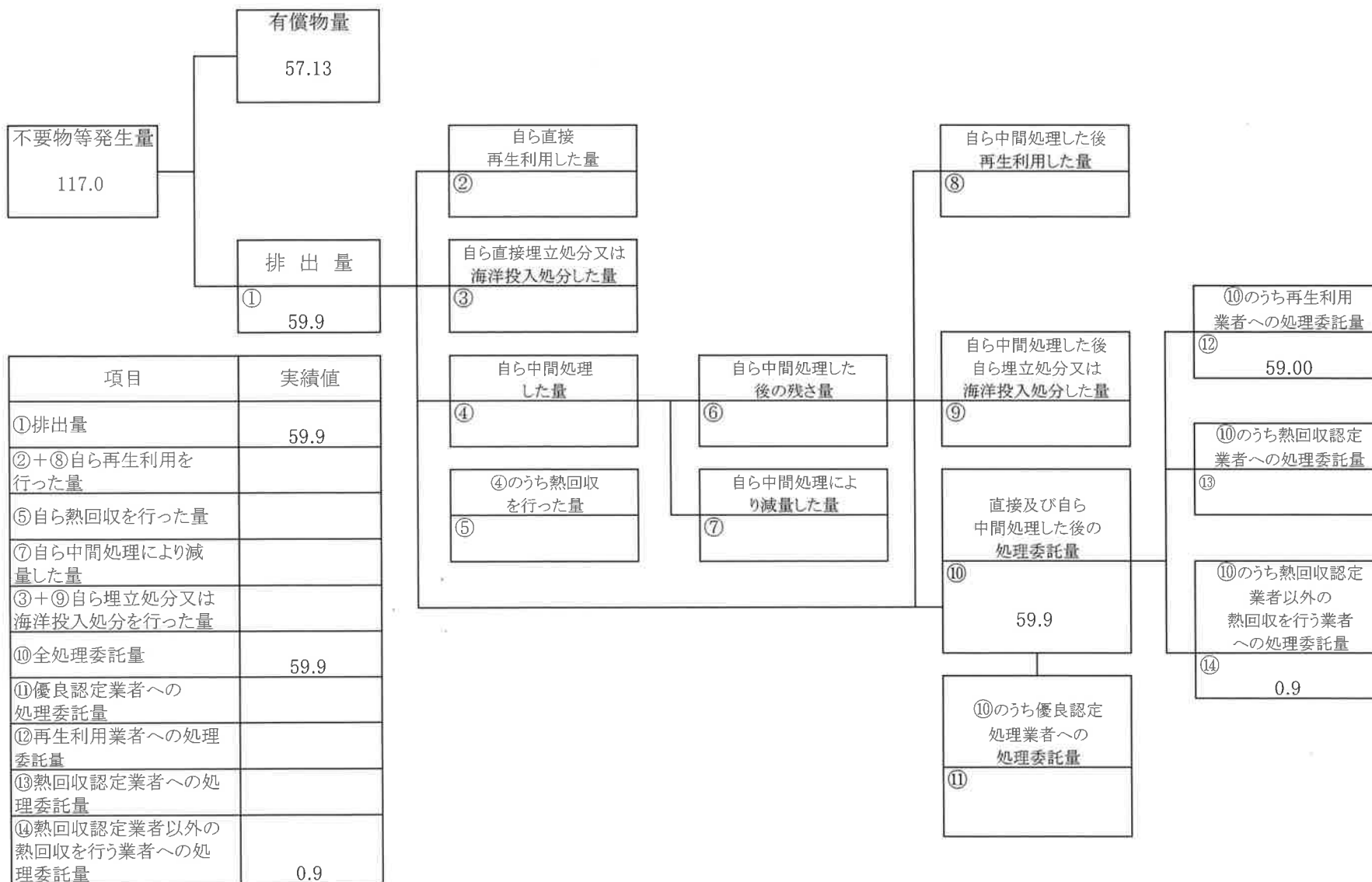
(産業廃棄物の種類:鉄くず)



(R6年度計画)

計画

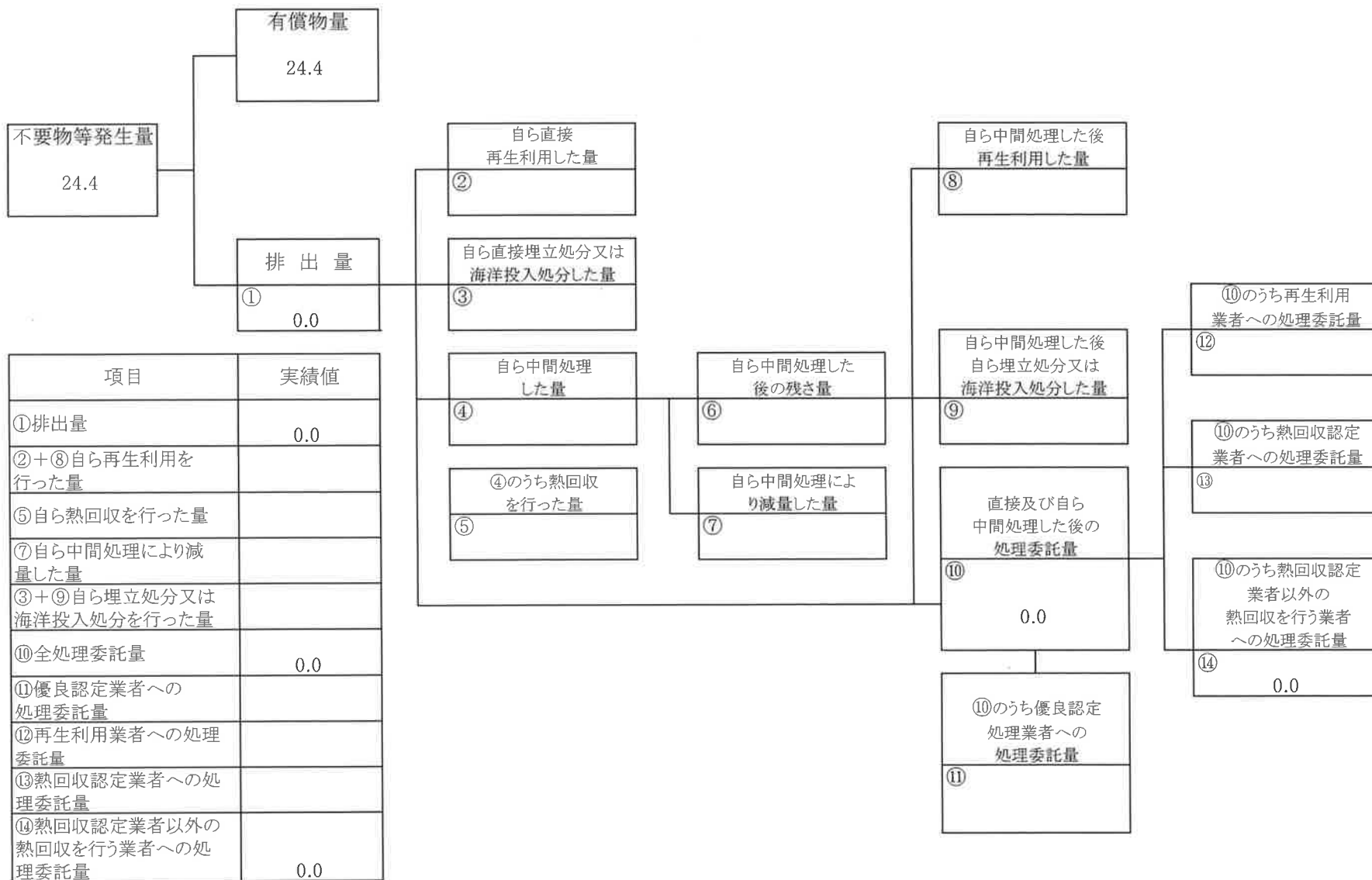
(産業廃棄物の種類:植物性残渣)



(R6年度計画)

計画

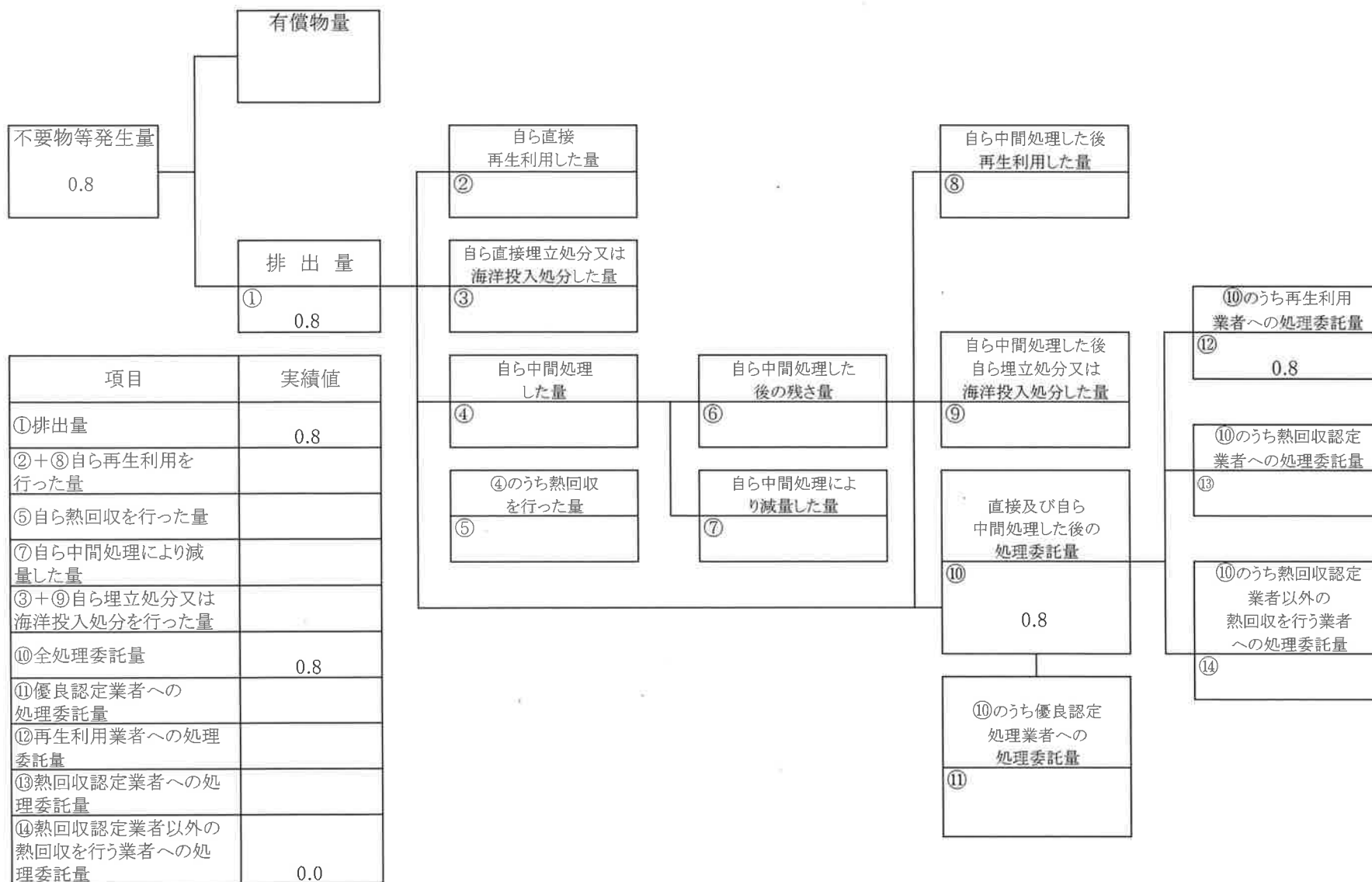
(産業廃棄物の種類:紙くず)



(R6年度計画)

計画

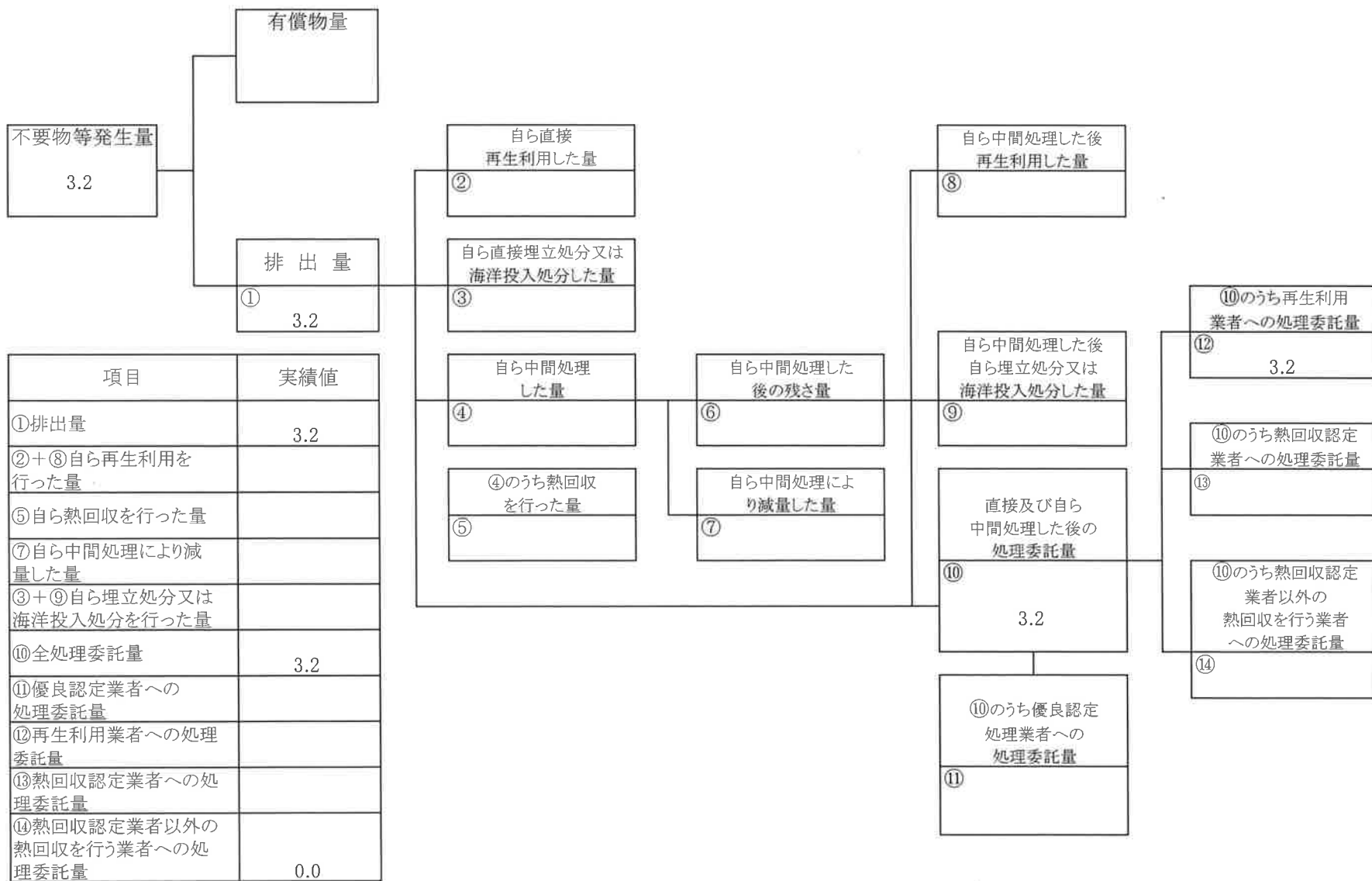
(産業廃棄物の種類:混合廃棄物)



(R6年度計画)

計画

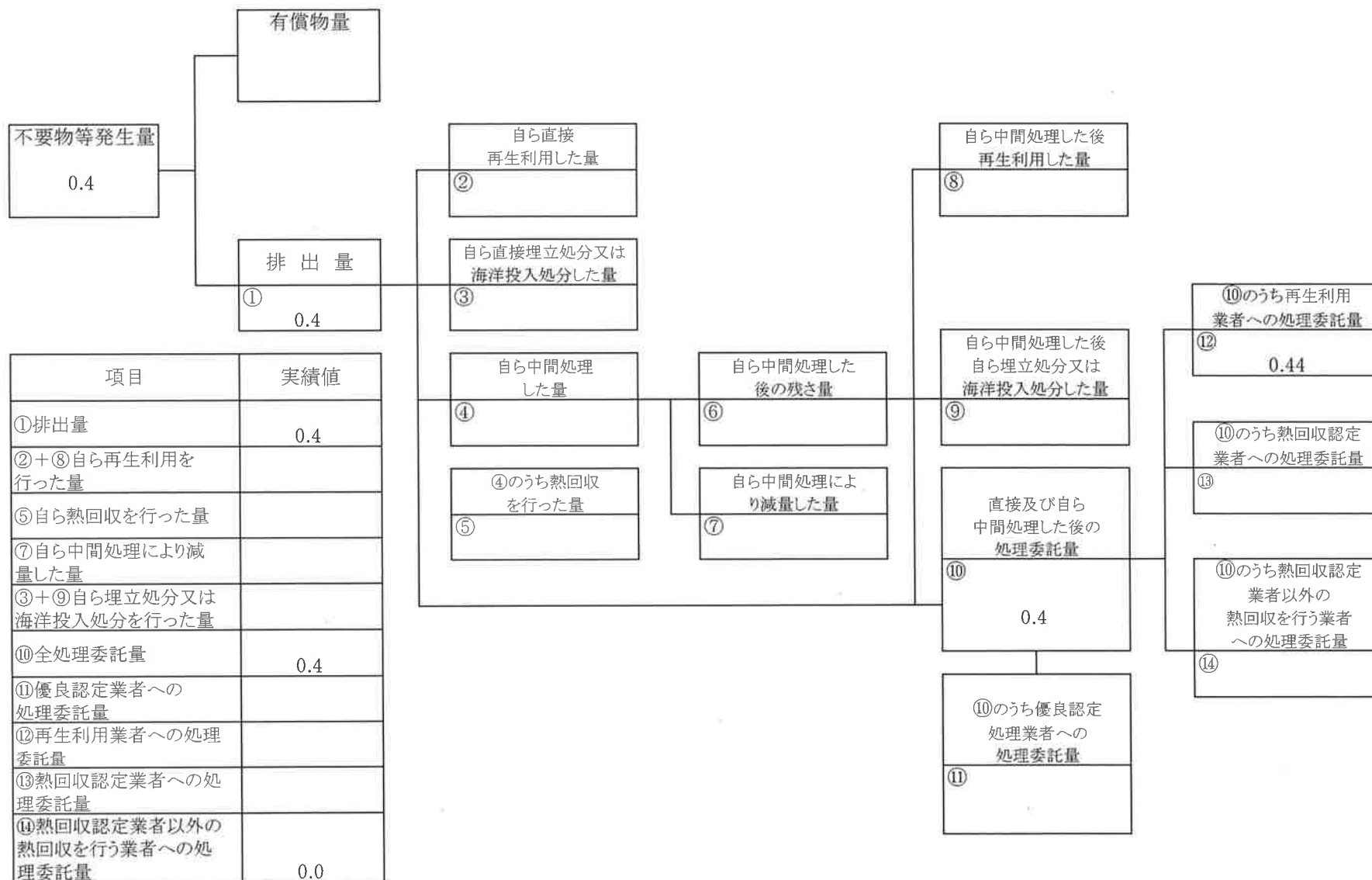
(産業廃棄物の種類:木くず)



(R6年度計画)

計画

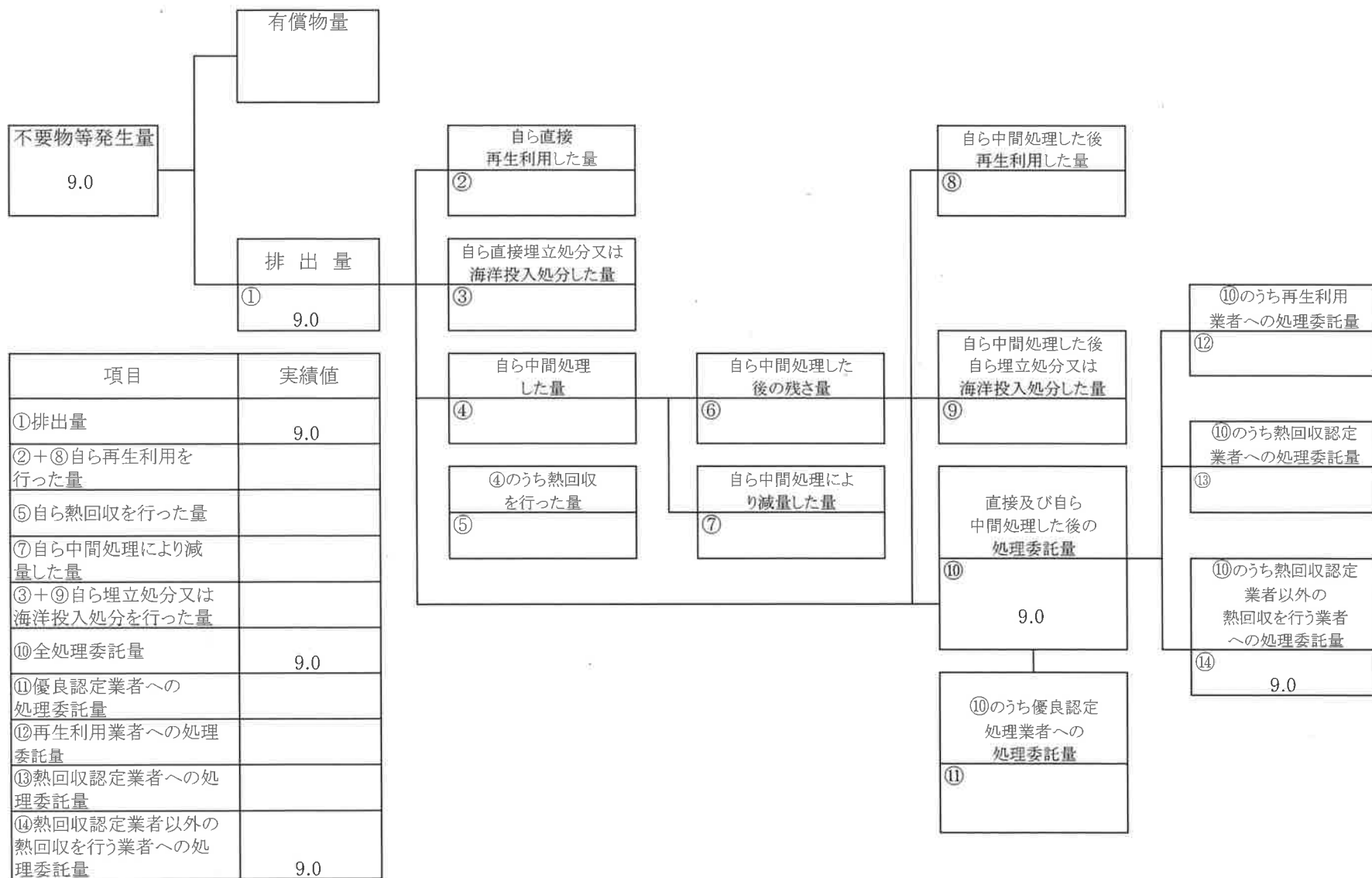
(産業廃棄物の種類:がれき類)



(R6年度計画)

計画

(産業廃棄物の種類:汚泥(活性炭))



(R6年度計画)